



①少し砂が堆積した堰の上まで長靴で行けた。



②堰の上流側にも砂州が広がっていた。



③堰の下流側から見たところ。阪神橋梁水位計の下に砂州が広がっている。



④阪神橋梁護岸復旧工事が続いている。



⑤武庫川橋少し上流側から阪神橋梁間の堆積土砂を平らにならす工事が行われていた。



⑥堰上流側は綺麗な砂で、極限られた範囲にへドロ状の表面が見つかった。表面を少し取り除くと砂州面が現れる。

干潮 13時 阪神橋梁水位 0.28m 尼崎港潮位 0.31m。写真①完全転倒した堰の上に少し堆積下砂の上を河口方向への流れがある。写真②堰上流側、③堰下流側から見ても河床高さは同じで上下流に砂州が表れていた。堰の上流側の川底は綺麗な砂州が広がっており、砂州をならす工事が進められていたが、へドロ状の部分は見あたらなかった。極狭範囲の水溜まりにへドロ状を示すところもあったが、表土を除くと綺麗な砂が現れへドロ堆積のない事が分かった。